

2010年度

科目名	図書館サービス論		
担当教員	前川 和子		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	55110
開期	後期	講時	金曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	現在公共図書館を中心に提供されている各種サービスを、日本を中心に具体的に解説する。		
目的と概要	情報を求めて図書館に来る利用者に、図書館はさまざまなサービスを提供する。その目的は、個人的および自主的な教育を支援、子どもたちの読書習慣、文化遺産の認識、芸術・科学上の業績や革新についての理解、個人の創造的な発展のための機会を提供すること、などにある。		
成績評価法	各回的小レポート50%、期末試験50%を、あわせて評価する。		
テキスト	図書館サービス論(新図書館学シリーズ;3)/高山正也/樹村房		
参考書	必要に応じて提示する。		
履修に当たっての注意・助言	日頃使用している図書館を、資料・情報の提供サービス機関として注意深く観察すること。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館サービスの意義：テクニカルサービスとパブリックサービス 2. 図書館サービスの要素・諸相：図書館サービスを支えるもの 3. 種類：形態別サービス（1）閲覧、貸出、移動図書館（自動車図書館） 4. 種類：形態別サービス（2）情報サービス：レファレンスサービス、利用し同・利用者指導、その他 5. 種類：利用対象別サービス（1）幼児・児童に対するサービス 6. 種類：利用対象別サービス（2）ヤングアダルト・サービス 7. 種類：利用対象別サービス（3）一般成人 近年の公共図書館サービスの特徴：市政に対するサービス 8. 種類：利用対象別サービス（3）一般成人 近年の公共図書館サービスの特徴：ビジネス支援、健康情報 9. 図書館利用に障害を持つ人々への支援：アウトリーチ・サービス、高齢者サービス 10. 図書館利用に障害を持つ人々への支援：多文化サービス 11. 図書館利用に障害を持つ人々への支援：障害者サービス 12. 著作権 13. 図書館ネットワーク 14. 図書館サービスの測定と評価 15. 変化する図書館サービス 			